



群馬用水

～若き農業者の紹介～NO.2



都丸 大介（とまる だいすけ）さん 37歳

地 区：渋川市北橋町

経 歴：前橋工業高校卒業→東北福祉大卒業→食品会社→(株)サイエNZ→就農

経営の概要

- (1) 経営人数 11人（本人、パート4名、外国人労働者6名）
- (2) 経営面積 7.7ha
- (3) 主要作物
 - ・ナス：1ha(露地50a・ハウス50a)
 - ・ほうれん草：6ha(露地5.5ha・ハウス50a)
 - ・苺：20a（ハウス20a）
 - ・ズッキーニ：50a（露地15a・ハウス35a）

～都丸さんへのインタビュー～

・ 就農したきっかけ

元々親が農業をしていましたが、大学卒業後は食品会社に就職しました。

その後食品会社に勤めている頃に兄が、(株)サイエンスでの修業から帰ってきて独立し、農業を楽しそうにしている姿を見て面白そうだなと感じ始め、また(株)サイエンスからのお誘いもあり思い切って脱サラし就農しました。

現在では地域農業の活性化のため、地域の空いている農地の借入れを進め、規模拡大をした農業に取り組んでいます。



・ 農家として作業している中で感じていること

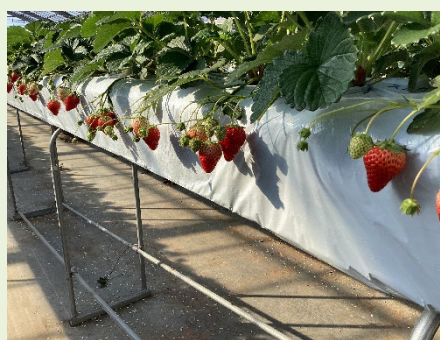
とにかく自由に自分で考えて好きなこと新しいことにチャレンジが出来ることです。作物は天候等で左右され、想定外なことも起きることも多くありますが、理想の作物が出来る達成感はやっぱり農業の魅力です。

その反面、年配同士のしがらみや昔からの馴染めない慣習があり、若手は遠慮することも多々ありますが、農家同士の密接な協力関係は強いと思います。



・ 群馬用水の利用する中での要望

群馬用水を利用してゴミ詰まりは多いですが、暑い時期に安定的に水が供給できるのは助かっています。



一番は樽地域にも水を引いてもらいたいです。主に樽地域では苺を作っているのですが、井戸水を利用している状況です。

群馬用水を利用した農地はまだ少ないですが、水があれば栽培の幅が広がるので群馬用水が利用できる農地を紹介してもらいたいです。

・今後の目標

赤城、北橘地区の農業は衰退傾向であり、耕作放棄地が増えています。1年を通して安定できるように創意工夫して野菜を作り、1億円を目標に規模拡大をして農業で地域に貢献していきたいと思ひます。

※都丸氏は、令和3年度、6年度に群馬用水地域露地ナス立毛共励会に、地区の代表として出展され、群馬用水の営農推進活動に寄与しています。



・経営の詳細

経営面積	区 分	田	畑	計
	実面積			7.7ha
うち群馬用水受益面積			85a	
作付面積	作物名	面積（令和7年）		
	ナス	1ha（露地50a・ハウス50a）		
	ほうれん草	6ha（露地5.5ha・ハウス50a）		
	苺	20a（ハウス20a）		
	ズッキーニ	50a（露地15a・ハウス35a）		
計	7.7ha			
農業機械・出荷施設等の装備	トラクタ 80馬力 60馬力 20馬力 計3台 梱包機1台 消毒機1台 動噴1台			

販売金額	品目名	販売額 (令和7年時点)	販売先 (出荷量順)
	ナス	4100万	① 農協 ② ファーマーズ ③ 野菜クラブ
	ほうれん草	3400万	
	苺	1600万	
	ズッキーニ	400万	
計	9500万		

※群馬用水土地改良区は、地域で頑張る若き農業者の方（新規就農者など）を紹介し群馬用水利用の促進など図っていきたくて考えています。

皆さんも地域で活躍している方をご紹介ください。

賦課徴収課 027-251-0019

群馬用水運営対策協議会取材